

令和4年度 第2回岐阜支部評議会概要報告

開 催 日 時	令和4年10月18日(火) 13:54~15:12
開 催 場 所	濃飛ビル15階 会議室
出 席 評 議 員	梅津評議員(議長)、寺町評議員、鷺見評議員、木野村評議員、 近藤評議員、森川評議員、大杉評議員、佐伯評議員
議 題	<p>議題1 令和5年度保険料率について</p> <p>議題2 令和5年度戦略的保険者機能に関する現状評価・課題・重点施策について</p> <p>議題3 更なる保健事業の充実について</p>
議 事 概 要 (主 な 意 見 等)	<p>評議員 9 名中 8 名が出席 各議題について事務局より資料に基づき説明。主な意見等は以下のとおり。</p> <p>議題1 令和5年度保険料率について(資料1)</p> <p>【評議会としての意見】 平均保険料率を 10%で維持すること、変更時期は令和 5 年 4 月納付分(3月分)からとすることについて異議なし。</p> <p>【学識経験者】 ・保険料率を下げるのは難しいと思うが、保健事業等で加入者や事業所がなにか恩恵を受けられるようなことを考えてほしい。 ・社会保険制度は信頼が大切であり、中長期的に制度を維持していくためには 10%が妥当な数字だと思う。</p> <p>【事業主代表】 ・社会保険の適用拡大により加入者が増えると期待していたが、共済組合への移行によって加入者が減ってしまったとは意外に思う。</p> <p>【被保険者代表】 ・単年度収支で行っているのであれば本来黒字が出たら、保険料を下げるべきだとは思いますが、医療費の増加や後期高齢者支援金の増加などの懸念を考えると 10%維持が現実的である。ただし、結論としては 10%維持であるが、将来にかなり懸念事項の残った現状維持だと思う。 ・準備金について 10 年間は持つ見込みと試算されているが、11 年目以降減り続け、いつまで持つのか心配である。</p> <p><事務局> 国では持続可能性に資するいくつかの制度変更の議論がスタートしている。</p>

議題2 令和5年度戦略的保険者機能に関する現状評価・課題・重点施策について(資料2)

【被保険者代表】

歯科医院の受診率が全国で1番高いとあるが、歯科健診に力を入れている地域である可能性や歯科医院が多い可能性など様々な要因が考えられるうえに、早期受診することにより将来的にかかる医療費を減らしていることも考えられるので、医療費が高いから悪いという捉え方はせずに分析を進めてほしい。

【学識経験者】

ジェネリック医薬品の使用割合を上昇させるためにどのような取組が効果的か把握しているか。

<事務局>

特定の医療機関で切り替えが進んでいないという事実があるので、従来に引続きそのような医療機関に対して働きかけを行っていきたい。

議題3 更なる保健事業の充実について(資料3)

【学識経験者】

生活習慣病予防健診を活用していない理由として、バリウムによる胃部レントゲン検査を受けてしまうとその日の業務に支障が出るため、避けられる傾向があると以前聞いた。胃がん検診は国のガイドラインで50歳以上の方を2年に1度対象としているため、35歳から49歳まで胃がん検診を選択制にしたら受診率が上がるのではないか。

特 記 事 項

- ・傍聴者なし
- ・次回開催は令和5年1月の予定